

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：26026

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇児童アンケートや教職員アンケートの「最後までやり遂げること」「できるまで努力すること」に係る項目について肯定的な割合が高く、本校の重点目標「ねばり強い子」を目指した効果が表れてきている。</p> <p>◇「一人一人が主人公となる学校」を目指し、授業実践を積み重ねてきた結果、「主体的に学び、自己を高める姿」が表れてきた。</p> <p>◇ICTを活用した実践を積み、効果的な活用場面が明らかになってきた。</p>
	<p>◇児童アンケートの「自分の考えや思いを表現すること」「進んで発言すること」「話の内容や順序を考えること」において肯定的に捉えている児童の割合が若干低い。発達段階に合わせた交流場面を意図的に設定し、自分の考えを表出する機会を増やしていくことが課題である。</p> <p>◇児童アンケートの「自分に生かして学習している」について肯定的に捉えている児童の割合が低いことから、教師がこの部分について具体的なイメージを描き、学習したことをどのように生活に生かしていくことができるかを考える場面を設定していくことが課題である。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇児童アンケートから、全校的に自己肯定感が高く、相互承認の項目も90%を超えているものが多い。「元気なあいさつが溢れる学校」を目指して積み重ねてきた取組が効果的に作用していると考えられる。引き続き「あいさつ」に力を入れたり、縦割り班活動や学年・学級での自己と他者の良いところを見つけて伝え合ったりして、相互承認の感度を高める活動の充実を図る場の設定や価値付けが重要となる。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
進んで考え学ぶ かがやく子 ～主体的に学び、自己を高める力～	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>◇研究副主題「一人一人が主人公となる授業」の実現</p> <p>(1)研究教科の算数で「主体的に学ぶ姿」をめざすための教材化を行う。</p> <p>(2)研究教科の算数で「自分の考えを問い直し、学びを自分のものとしていく姿」を目指すための教師の関わりを行う。</p> <p>◇学期に一度「自主学習がんばり週間」を設定し、「みんなの家庭学習ノート」を見合うことにより、課題探究的な学習の充実を図る。</p>
	<p>◇「プラスのまほう」に基づいた活動の計画と実践</p> <p>①委員会活動…各委員会がPLUSをコンセプトに活動</p> <p>②学年、学級での活動…PLUSに即した計画、活動</p> <p>◇よりよい学級にするための学級活動の充実</p> <p>①学級会でPLUSに即した学級目標を作成</p> <p>②学級の様々な課題を議題にした学級会の実施</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
	<p>◇ICTを(1)や(2)実現のためのツールとして捉え、効果的な場面で活用していく。(デジタルとアナログの使い分け)</p> <p>◇①②に関わって計画や報告を発表する場を設定する→掲示板やgoogleフォームで共有</p> <p>◇生成AIを含めたICTの活用に関するカリキュラムの作成に取り組む。</p>

<本プログラムの実行に向けて>



